

今後のごみ減量施策

1 3きり運動の推進

ごみ減量施策として、ごみそのものを減らしていく取り組みとして「水きり」「使いきり」「食べきり」の「3きり運動」を推進していく。

「3きり運動」とは

「3きり」とは、「水きり」「使いきり」「食べきり」のことで、家庭から出る燃やせるごみの中で、約40%を占める生ごみの削減に有効な取り組みです。

生ごみをのうち、約70%が水分と言われており、「水きり」をすることで、ごみを大幅に減らすことができます。

さらに、生ごみの中には、冷蔵庫などに入れたまま期限切れとなったものや、食べられるのに捨てられてしまうもの、いわゆる「食品ロス」も含まれています。

「3きり運動」を推進し、生ごみそのものを減らすことができます。

「水きり」

・ 生ごみを出すときは
水気を切りましょう。

- ①濡らさない
- ②ひとしぼり
- ③乾燥させる

「使いきり」

・ 食材は無駄なく
使い切りましょう。

- ①冷蔵庫在庫チェック
- ②買いすぎない
- ③アレンジして使い切る

「食べきり」

・ 料理は残さず
食べきりましょう。

- ①食べきれぬ量だけ作り
残ったら冷凍冷蔵保存
- ②外食時は食べきれぬ量
だけ注文

消費期限と賞味期限を正しく理解しよう！

消費期限 = 「食べても安全な期限」のため、それを過ぎたものは食べないほうが安全。

賞味期限 = 「おいしく食べられる期限」であり、それを過ぎてもすぐに食べられなくなるものではない。賞味期限を過ぎた食品については、見た目や臭いなどで個別に判断。

2 ダンボールコンポスト普及促進事業

(1) ダンボールコンポストとは

ダンボールコンポストとは、ダンボール箱を利用した生ごみ処理容器で、ダンボール箱に土壌改良材（ピートモス・もみ殻燻炭など）を入れ、好気性（酸素を必要とする）微生物の力によって生ごみを分解し、堆肥を作るものです。

(2) これまでの経緯

- ・平成23年 ダンボールコンポスト講習会開始
- ・平成26年 ダンボールコンポスト購入費補助金交付開始
- ・平成30年 事業仕分けにおいて、ダンボールコンポスト普及促進事業が市民判定人により「不要・凍結」と判定される。この結果を受け、普及啓発という同事業の所期の目的を達したと判断し、平成30年度をもってダンボールコンポスト普及促進事業を廃止する。
- ・令和2年 12月市議会定例会において、「ごみ有料化にあたって、ごみ減量への市民の意識を高める施策を求める請願」が採択され、市に送付を受けた。

【請願項目】

1. 家庭の可燃ごみ有料化にあたって、生ごみ減量に対しての具体的な方法を市民に啓発するため、生ごみを堆肥化するための講習会を行っていただきたい。
2. ダンボールコンポストやその他生ごみ処理機への市民助成を再開していただきたい。

(3) ダンボールコンポスト普及促進事業の在り方

① 現状

- ・ダンボールコンポストは、生ごみ減量に有効な取り組みであることから、ホームページに作り方を掲載し普及啓発をしている。
- ・現在、動画でのダンボールコンポストの作り方を作成中。

② 社会情勢の変化

[情報収集の変化]

- ・スマートフォンなどのモバイル端末の普及により、情報を簡単に得られる環境となった。(スマートフォン普及率 平成 22 年 9.7%→令和元年 83.4%)
- ・SNS の普及により、他者との情報共有が容易になった。

[ごみ処理による負担の変化]

- ・家庭系ごみ有料化による受益者負担の公平化により、経済的インセンティブが能動的に働き、減量化施策を個々で考え実践することとなる。

③ ダンボールコンポスト普及促進事業の方針案

- ・人件費を含めた事業費に対して、費用対効果があるか。
- ・受益者が特定な者に限定されず、かつ社会的に支援が必要であるか。
- ・行政と市民の役割分担から見て、真に補助すべき事業であるか。

(4) 県内他市の状況 (令和 3 年 5 月調べ)

① ダンボールコンポスト講習会

5 市 (岐阜市、関市、中津川市、美濃市、美濃加茂市)

② ダンボールコンポスト資材購入費補助

6 市 (岐阜市、大垣市、関市、美濃市、瑞穂市、本巣市)